

ふーお通信



Vol.183 発行 2021年3月1日

<http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp/fukurou/>

寒暖差の激しい2月半ばから3月を迎えました。
三寒四温の言葉どおり、少しずつ暖かく春の訪れとなっ
ていきますね。
3月は桃の節句。嬉しいお子様の成長をお祈りします。

今月のおすすめ



『ひなまつりのこびとのはなし』

まついのりこ 作、絵
童心社

ひなまつりこびとが、おびなやめびなお雛様
をかざっていきます。のはらの友達もやって
きて、楽しいひなまつりがはじまります。



ご連絡ごとはこちらへ。
Tel.0858-22-0351



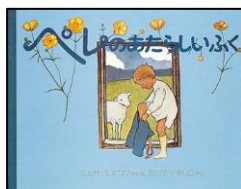
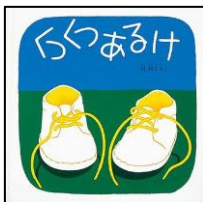
『ぼとんぼとんはなんのおと』

作: 神沢利子 絵: 平山 英三
福音館書店

何度と雪を楽しむことが出来た今年。春は
もうすぐそこです。

森でねむるくまのこは「かーんかーん」「ぼと
んぼとん」と春の音を耳にします。

春を感じる絵本 いかがですか



乳幼児親子の読み聞かせ会 3月はお休みです。

初めて耳にするコロナで自粛生活が余儀なくされ、Rホールでの読
み聞かせ会を中止して一年になろうとしています。

その間、絵本一冊一冊、作家さんお一人おひとりと深い繋がりを
持つことが出来ました。

コロナ終息後は、スタッフ一同みんな再会を喜ぶたいものです。



あしあと ふりかえりの写真

「かしこく食育」 日本の食文化の伝承

管理栄養士 石賀安枝さんの連載が始まりました。
1月より月1回日本海新聞に掲載されます。ご覧ください。



日本海新聞2月24日(水)より

おともだち紹介

梶の会を楽しみにしていた娘と息子も5歳と3歳になり、去年3人目が産まれました。
一人目の子の時に梶の会で絵本の楽しみ方を教えてもらいました。闇雲に読んでいた絵本が触れ合
いタイムになりました。2人目の時は2歳児と0歳児の子とのバタバタな毎日の癒しの場でした。

あまり読んであげられなかったと感じる3歳の息子でしたが、毎日「絵本読んで！読んで！」と絵本大
好きになりました。ちょっと待ってー。何回読むのーと思ってしまうのですが、絵本から沢山の事を
学び、絵本って凄いなあと感心することが多いです。お姉ちゃん、お兄ちゃんのおかげで5ヶ月の娘
も絵本に興味を持ってくれ、主人が反応が面白い！と言うくらい真剣に見てくれます。

コロナ禍で保育園での絵本借りも中止になったので、最近は図書館に行くことを楽しんでます。娘
の時に読んだ本を見つけ、その時の事を思い出してジーンとしたり、絵本でないと思わなかったと思う
本を借りて感動することがあり、絵本のありがたみを感じる今日この頃です。

コロナ禍で大変なママが多いことと思います。早くコロナが終息し、また子供達の笑顔いっぱいの
梶の会で、癒されるママが増えますように願ってやみません。また参加出来る日を楽しみに待っ
ています。



すみれママ